

令和5年3月能代市議会定例会

市長説明要旨

令和5年3月能代市議会定例会の開会に当たり、提出議案の説明に先立ち、その後の市政及び諸般の動きなど、その大要を御報告いたします。

初めに、新型コロナウイルス感染症の対応についてであります。年末年始にかけて全国的に感染者数が高止まりの状況にあり、能代保健所管内においても医療機関、高齢者施設、保育施設等でクラスターが発生していましたが、感染者数は徐々に減少してきております。国においてはイベント等の開催制限を緩和したほか、3月13日からマスク着用の考え方の見直しをし、5月8日から新型コロナウイルス感染症を感染症法上の5類へ引き下げることが決定しました。

発生から3年を経過し、ようやくコロナ後の日常に向けて世の中が動き始めておりますが、管内においては、依然として新規感染者が発生しておりますので、市民の皆様には、引き続き感染防止対策の徹底をお願いしながら、今後の対応について随時、情報提供してまいります。

新型コロナワクチンの接種については、現在、1、2回目の接種を終了した12歳以上の全ての方を対象として、オミクロン株対応ワクチンを用いた追加接種を行っており、2月21日現在、28,058人、64.1%の方が接種を終えております。

この度、国から令和5年度以降の新型コロナワクチンの接種について、重症者を減らすことを第一の目的とし、全市民を対象として接種機会を確保することが望ましいとの方針が示されました。また、接種は秋冬に行うべきとのことですが、今後の感染状況等によっては、65歳以上の高齢者等の重症化リスクが高い方及び医療従事者等については、秋冬を待たずに接種する必要性についても留意することとされております。

国では、3月上旬までに最終的な結論を出すとのことであり、今後の動向を注視するとともに、能代市山本郡医師会、関係機関等と連携をとりながら、ワクチン接種が円滑に進むよう必要な準備を進めてまいります。

なお、ワクチン接種をしない方やできない方への差別が生じないように、市民の皆様には御配慮をお願いいたします。

次に、第2次能代市総合計画後期基本計画についてであります。パブリックコメントを終え、現在最終的な取りまとめを進めております。

後期基本計画では、「子どもを生き育てやすい環境づくり」、「働く環境の向上と人材の確保」、「地域の特色を活かした産業の更なる振興」を重点的かつ横断的な取組として位置づけており、今後、市民や各種団体、事業者等の皆様方と計画の共有を図り、“お”のまち能代の実現に向け、連携してまちづくりを進めてまいり

ます。

企業等との連携に係る職員体制の強化についてであります。地方創生や産学官連携等、地方自治体と企業や大学等が連携し、企業等が持つ経営資源やノウハウを活用しながら協力して地域振興に取り組む事例が増えつつあります。本市においても、洋上風力発電事業の進捗等によりこうした動きが活発化していくことから、様々な施策において企業等と連携して地域課題の解決や活性化に向けた取組を推進するため、企画部総合政策課内に担当部署を設置し、専任の職員を配置したいと考えております。

また、エネルギー関連産業を中心とする企業との交渉や、新たな産業団地の整備に向けた県との連携等、環境産業部の業務が高度化、専門化してきており、これらの業務を主導する部長級の職員を同部に配置したいと考えております。

次に、広報のしろのリニューアルについてであります。掲載しているお知らせや市政情報をより分かりやすく、関心を持って読んでいただくため、伝えるから伝わる広報にしてまいりたいと考えております。

9月からの新たな広報のしろでは、発行回数を現在の月2回から1回に集約した上で、市の重点事業や地域の魅力等を特集記事として毎号カラーで見やすく掲載するなど、紙面の刷新を予定しております。

学校跡地の利活用についてであります。東中跡地については、これまで地域の皆様と意見交換を重ね、防災拠点や子どもの遊び場等の機能を備えた施設を想定し、地域センター及び公民館機能を含む施設として整備することを柱に検討してまいりました。今後は、具体化に向け、基本構想の策定作業を進めてまいりたいと考えております。

また、北高跡地については、今年度「6の市」や秋田公立美術大学との協働による実践型ワークショップのほか、関係課長からなる庁内検討会議を開催し、利活用の検討を進めてまいりました。来年度は、同大学との協働による検討を継続するとともに、庁内検討会議における議論を更に深めてまいりたいと考えております。

本因坊戦の開催についてであります。第78期七番勝負の第2局が5月28日、29日に旧料亭金勇で行われることが決定いたしました。本市での開催は、令和3年に続き、2年ぶり5回目となり、現在、前人未踏の11連覇中の「本因坊文裕」こと井山裕太九段が12連覇を目指す注目の対局で、4月上旬頃に挑戦者が決定する予定であります。

市といたしましては、対局前日の記念囲碁大会や前夜祭、当日の初手観戦や大盤解説会等を開催する実行委員会とともに対局を盛り上げ、旧料亭金勇や能代市の魅力を全国に発信してまいりたいと考えております。

次に、コンビニ交付サービス事業についてであります。3月1日から、マイナンバーカードを活用して、コンビニエンスストアに設置されたマルチコピー機等から住民票の写しと印鑑登録証明書を取得できるサービスを開始いたします。

これにより、利用者は市役所に出向くことなく、早朝や夜間、休日でも証明書が取得できることとなり、市民の利便性向上と窓口の効率化、混雑緩和につながると考えております。市民の皆様には、是非御利用くださるようお願いいたします。

福祉医療制度の拡充についてであります。本市では、子どもを生き育てやすい環境づくりを第2次能代市総合計画の重要課題の一つと位置づけており、福祉医療制度につきましても、具体的な軽減内容や実施時期等について検討を進めてまいりました。

このうち、制度の適用外となっていた市民税所得割課税世帯の高校生等につきましては、昨年10月1日から医療費の半額助成を開始しておりますが、次の世代を担う子どもの健康を守り、子育て世帯にかかる経済的な負担を軽減するため、所得にかかわらず0歳から高校生等までの医療費を全額助成することとし、8月1日から開始したいと考えております。

第2期能代市子どもの未来応援計画についてであります。本市では、平成30年3月に第1期計画を策定し、子どもの貧困対策を推進しておりますが、今年度末で計画期間が終了となります。

このため、現在、計画策定委員会の御意見やアンケート調査の結果等を踏まえ、「子どもの未来をみんなで支え合うまち のしろ」を基本理念とする第2期計画案を取りまとめておりますので、年度内に策定し、市民の皆様へ公表したいと考えております。

出産・子育て応援給付金についてであります。国の令和4年度第2次補正予算において、全ての妊婦・子育て家庭が安心して出産・子育てができるよう、伴走型相談支援の充実と経済的支援を一体として実施することとされました。

これを受け、市といたしましては、出産・育児関連用品購入等の負担軽減が図られるよう、妊娠時及び出産後における保健師等の面談後にそれぞれ5万円、合わせて10万円を支給し、出産・子育てを支援してまいりたいと考えております。

次に、「CCS」及び「CCUS」についてであります。二酸化炭素を回収し地中に貯留するCCS及びそれを活用するCCUSは、地球温暖化対策の有効な手段の一つで、経済産業省の二酸化炭素貯留適地調査報告書では、本市と三種町にまたがる海域が、大規模貯留地として高い評価を受けており、早期の事業化が期待されます。

こうした中、2月3日に三種町CCSプラント誘致協議会と本市の主催により、本地域での意識醸成を図るため、事業に係る勉強会を開催し、経済産業省の審議会であるCCS長期ロードマップ検討会の最終取りまとめ案や苫小牧での実証試験、CCUS実現可能性調査等について御講演いただきました。

今後も、国の動向を注視しながら、秋田県及び三種町と連携して当海域での二酸化炭素大規模貯留の実現に向けて取り組んでまいります。

洋上風力発電を通じた能代港拠点化の推進についてであります。昨年12月22日に、地元企業も参画する「秋田洋上風力発電株式会社」による能代港港湾区域内の洋上風力発電設備の商用運転が開始されました。同社では、これを機として4月1日から、本社を能代市内へ移転する予定であると伺っております。

また、先月末には本市で洋上風力発電に係る講演会が開催され、長崎県五島市沖に設置された浮体構造物周辺の海中状況や、浮体式設備の低コスト化、風車メーカーの国内サプライチェーン構築に向けた取組等について、関係者の理解を深めることができました。

市といたしましては、今後も先端技術や先行事例等を研究しながら、産業振興や雇用創出、地域活性化等、地域が多くのメリットを享受できるよう、能代港洋上風力発電拠点化期成同盟会を中心に取り組んでまいります。

能代七夕天空の不夜城についてであります。コロナ禍で3年ぶりとなった令和4年の運行では、関係者の多大なる御協力により、イベントを大いに盛り上げていただきました。これまでの開催により、地域のにぎわい創出や観光による経済効果が図られ、シビックプライドの醸成にもつながったものと考えております。

一方で、今後の事業継続については、製作の担い手確保、保管場所の老朽化、灯籠の更新等の様々な課題もあり、来年度において、能代七夕天空の不夜城協議会とその対応について検討してまいりたいと考えております。

また、先日の能代七夕天空の不夜城協議会実行委員会において、今年の開催を昨年と同じ8月2日、3日の2日間としております。

能代産業廃棄物処理センターに係る処理水の区域外流入についてであります、県から、12月27日付けで令和5年度分の受入許可と使用料の免除について、協議文書が提出されております。

市といたしましては、地域の環境保全と市民の不安解消のため、水量、水質基準等の条件を付した上で、引き続き1年間、公共下水道に受け入れるとともに、公益上の観点から使用料を免除したいと考えております。

次に、農業技術センターの整備についてであります、令和2年3月に整備方針検討委員会から提言を受けた候補地の3案は、いずれもセンターの設置場所やほ場の確保等に課題を抱えております。

また、ロボットやICT技術を活用したスマート農業の技術が日々進展していること等から、センターの機能面においても検討すべき事項が増えてきております。

こうしたことから、今後も整備方針の決定までには時間を要するものと考えておりますが、変化し続ける農業情勢等に対応するとともに、ネギとそれに次ぐ主力品目の生産拡大、冬場の農業の確立等、基幹産業である本市の農業の課題に対し、進むべき方向性を見極めながら、将来の地域農業を支える新規就農者や担い手を育成できる、時代に即したセンターとなるよう、引き続き検討を進めてまいります。

次に、子ども館展示室リニューアル整備事業についてであります、4月29日のリニューアルオープンに向けて準備を進めております。宇宙をテーマとした1階の新展示室は、大型ネット遊具やゲーム感覚で学べるタッチモニター等を設置し、子どもから大人まで楽しく遊び学べる空間となります。市民の皆様はもとより、市外からも多くの方々に御来館いただけることを期待しております。

次に、単行議案について御説明いたします。

能代市定年前に退職する意思を有する職員の募集等に関する条例の一部改正は、職員の定年の引上げに伴い、定年前に退職する職員の募集対象年齢について規定の整備をしようとするものであります。

能代市個人情報の保護に関する法律施行条例の制定は、個人情報の保護に関する法律の一部改正に伴い、必要な事項を定めようとするものであります。

能代市情報公開・個人情報保護審査会条例の制定は、個人情報の保護に関する法律の一部改正に伴い、新たに能代市情報公開・個人情報保護審査会を設置しようとするものであります。

能代市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正は、放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準の省令の一部改正に

に伴い、安全計画の策定等に係る規定の追加等をしようとするものであります。

能代市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正は、家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の省令の一部改正に伴い、安全計画の策定等に係る規定の追加等をしようとするものであります。

能代市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正は、特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準の内閣府令の一部改正に伴い、懲戒に係る権限の濫用禁止に係る規定の削除等をしようとするものであります。

能代市国民健康保険条例の一部改正は、健康保険法施行令の一部改正に伴い、出産育児一時金の支給額を改めようとするものであります。

能代市学校教育施設整備基金条例の制定は、学校教育施設の整備に要する経費の財源に充てるため、新たに基金を設置しようとするものであります。

能代市公民館条例の一部改正は、能代市二ツ井公民館切石分館の老朽化に伴い同分館の位置を変更するとともに、能代市二ツ井公民館濁川分館の利用者の減少等に伴い同分館を廃止しようとするものであります。

能代市子ども館条例の一部改正は、プラネタリウム観覧料について、後納できる規定を追加しようとするものであります。

能代市生涯学習施設サン・ウッド能代条例の一部改正は、サン・ウッド能代テニスコートの利用者の減少に伴い、同テニスコートを廃止しようとするものであります。

能代市文化財資料収蔵庫条例の制定は、能代市文化財資料収蔵庫を設置しようとするものであります。

能代市道路占用料徴収条例の一部改正は、道路法施行令の一部改正に伴い、道路占用料の額を改定しようとするものであります。

このほか、能代市子ども・子育て会議条例の一部改正、能代市総合技能センター条例の廃止、土地の取得、市道路線の認定及び廃止、能代市農業集落排水事業特別会計等への繰入れについて提案しております。

次に、令和4年度能代市一般会計補正予算案の概要を御説明いたします。

まず、歳入の主なものは、法人事業税交付金の減額、地方交付税については、普通交付税の追加、国庫支出金は、出産・子育て応援交付金、学校施設環境改善交付金の計上、社会資本整備総合交付金の減額、県支出金は、機構集積協力金事業費補助金の減額、寄附金は、一般寄附金の追加、繰入金は、財政調整基金繰入金の減額、市債は、県営ほ場整備事業（負担金）債、学校施設整備事業債の追加等であります。

次に、歳出の主なものでありますが、ふるさと納税推進費1,228万7千円、生活保護費1,500万円、県営ほ場整備事業費5,895万7千円、小学校管理費3億4,633万9千円、中学校管理費1億7,017万9千円の追加、出産・子育て応援事業費4,224万3千円を計上したほか、児童扶養手当費、機構集積協力金事業費、道路交付金事業費、中心市街地道路施設更新事業費、能代山本広域市町村圏組合負担金等を減額整理しております。

以上、一般会計補正予算案の概要を申し上げましたが、補正額は2億1,338万6千円の減額となり、これを2月17日専決処分した後の既定予算に加えますと、一般会計の総額は338億8,550万円となります。

次に、令和5年度能代市一般会計予算案について御説明いたします。

予算編成に当たっては、既存事業の見直しを図りながら財源を確保するとともに、当面の行政課題や本市の将来に資する重要課題等にも積極的に取り組みながら、総合計画の基本目標のそれぞれの施策を推進するため関係予算を計上しております。

主なものとしては、「元気で魅力あるまち（地域づくり・健康づくり）」では、「地域資源を活かした特色あるまちづくり」として移住定住環境整備事業費、移住定住推進事業費を、「みんなが参加し活躍する地域づくり」として地域づくり支援費、市民活動支援センター事業費を、「心豊かな暮らしを支える健康づくり」として福祉医療事業費、PCR検査センター事業費を、「気軽に親しみ楽しめるスポーツ」として管理運営費（体育施設）、能代市総合体育館大規模改修事業費を計上しております。

次に、「笑顔で人が輝くまち（人材育成・生涯活躍）」では、「地域や社会で支える子ども・子育て」として結婚新生活支援事業費、出産・子育て応援事業費、学校給食費物価高騰対策支援事業費を、「次代を担う子どもを育てる学校教育」として奨学金貸付事業費、スクールDX推進事業費を、「地域や社会に活かす生涯学習・文化」としてサン・ウッド駐車場整備事業費、向能代公民館改築事業費を、「地域で活躍する元気な高齢者」として家族介護用品支給事業費、松籟荘等内外装改修事業費を、「自立した暮らしを支える社会福祉・社会保障」として地域福祉計画策定事業費、重層的支援体制整備事業費を計上しております。

次に、「豊かで活力あるまち（産業振興・雇用創出）」では、「地域特性を活かした産業創出」として次世代エネルギー導入促進事業費、次世代エネルギー人材育成支援事業費を、「雇用とにぎわいを生み出す商工業」としてのしらの産業プロモ

ーション事業費、能代工業団地拡張事業費（工業団地東側・西側）を、「豊かな自然や伝統・文化を活かした観光」として本因坊戦誘致事業費、道の駅ふたつい施設管理費を、「力強く持続する農業」として安心安全白神ねぎブランド力強化支援事業費、農業経営等再開支援事業費補助金を、「山・川・海を生かす林業・木材産業・水産業」として林道施設長寿命化対策事業費、Jークレジット推進事業費を計上しております。

さらに、「安心して暮らしやすいまち（生活環境・行財政）」では、「安全な暮らしを守る防災・防犯体制」として地域防災計画推進費、交通安全施設費を、「機能的で利用しやすい道路・交通ネットワーク」として地域公共交通活性化事業費、中心市街地道路施設更新事業費を、「快適で暮らしやすい住環境」として住宅リフォーム支援事業費、市営万町住宅建替事業費を、「自然と共生し持続できる環境・衛生」として能代山本広域市町村圏組合負担金（南部・北部・一般廃棄物処理施設）、施設管理費（斎場）を、「調和のとれた有効な土地利活用」として東中跡地活用調査等事業費、旧崇徳小学校活用調査等事業費を、「住民サービスに資する効率的な行財政基盤」としてコンビニ交付サービス事業費、キャッシュレス決済導入事業費を計上しております。

次に、歳入の主なものについて申し上げます。

市税については、前年度当初予算に対して5.6%増の75億7,300万1千円を計上しております。

地方交付税は、前年度当初予算に対して3.8%増の81億円を計上しております。

繰入金は、財政調整基金繰入金15億5,671万8千円、減債基金繰入金3億9,035万3千円を含めて、前年度当初予算に対して10.9%増の27億9,378万9千円を計上しております。

市債は、臨時財政対策債1億2,100万円を含めて、前年度当初予算に対して1.0%増の25億9,850万円を計上しております。

これにより、令和5年度一般会計当初予算案の総額は、317億5,800万円となり、前年度当初予算額296億3,000万円に対し、21億2,800万円の増となっております。

このほか、令和4年度各特別会計・企業会計補正予算案及び令和5年度各特別会計・企業会計当初予算案につきましては、提案の際、詳細に御説明いたしますので省略させていただきます。

また、承認案件として、専決処分した令和4年度能代市一般会計補正予算3件を提出しております。

なお、出産・子育て応援交付金の上乗せに係る令和5年度能代市一般会計補正予算、教育委員会委員及び人権擁護委員の各人事案件につきましては、後日追加提案させていただく予定であります。

以上、よろしく御審議の上、適切な御決定を賜りますようお願い申し上げます。